

箱根組ニュース

第345号 2022年新年号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

頭高山芋煮会、丹沢の景色に見とれ、無人ミカン狩りも楽しみ、2021年を締めくくる！

12月19日（日）。小田急線新宿駅発7時30分の急行小田原行きに乗りこむ。冷え込んだ朝だったこともあり空は雲一つない日本晴れだった。車窓からは真っ白な富士山が見えていた。

渋沢駅に8時48分着。駅前に集合したのは。太田（キノコ）、星野（幸）（長ネギ）、佐藤夫妻（里芋）、井上夫妻、坂巻（牛肉）、宗像夫人（麵つゆ）、川名夫人（しめじ、舞茸）、布施（長ネギ）、奥村（うどん）、神山（こんにゃく）、澤、星野親子（ゴボウ）、伊東からの西川夫妻、及川、神吉（うどん）、戸丸（カレー）、予備麵つゆ）の20名。カッコンは芋煮の材料分担。申し込んでいた川名さんが参加できなかったのは残念でした。

9時18分発の峠行バスに乗り込む。どんなバスが来るかと思っていたらコミュニティバスサイズの中型車。座席は15席、乗客は他に地元の方が一人おられたが20名が乗り込むとほぼ貸し切りの超満員。バスは駅から南側に向か

い丘陵を緩やかに登って行きトンネルをくぐると今度は下ってゆく。

9時30分、終点峠バス停着。1時間先までバスは来ないので、バスが旋回する広場で井上体操、じつくりと丁寧なストレッチ。体操の後すぐ近くに神社が見えたのでお参りをする。地元の人たちの神社だろうがなかなか立派だった。

9時57分、歩き出す。バス通りを少し戻るように車道を行くと左側に舗装路の少し細い坂道があり、頭高山（ずっこうやま）2,3キロ、29分という標識がある。これを入ってゆく。緩やかだが大きく曲がりくねった登りだ。これが今日の一番の坂だ。なかもる橋という陸橋を渡る。渋沢丘陵への尾根に向かっていく道の両側は斜面の畑で夏みかんらしきものを収穫している姿も見える。抜けるような青空を背景に取り残された柿の実の色が美しい。

10時18分、尾根に到着。右へ行けば渋沢丘陵方面だ。畑の展望台と呼ばれているこの地点は丹沢の景色が見事だ。



沢沢の街並みを挟んだ丹沢は美しい。

早速だが集合写真を撮る。しばらくは美しい景色を堪能する。右から、大山、二ノ塔、三ノ塔、塔ノ岳、鍋割山などが見える。塔ノ岳のすぐ下が鍋割山と思っただが実はずっと左側だった(ここでお詫びして訂正します。)少し左の空き地では大山まではつきり見えました。

10時35分、絶景と分かれて、西側に歩いてゆく。少し行くとすぐに右に下ってゆく。早速だが下り坂だ。尾根から外れるこの道が頭高山登山口方向だ。辺りは雑木林になり山らしくなる。

10時43分、左側に空き地がある。頭高山の駐車場で何台か駐車している。すぐに左側に登山口。山頂まで1.2キロ、15分と標識にある。芋煮会場の休憩所までは800mとある。地元の方の散歩コースともいえるだろう。数人の方が整備の為に枝打ちをしている。

現在の収支

繰越 36857 円
入金 芋煮残金 170 円

支出

News/HP 作成費 500 円
当日プリント代 200 円
現在高 36327 円

10時46分、左側に小さなミカン畑がある。下見の時も楽しんだ無人ミカン狩りをまだやっていた。皆で一個20円

のミカン狩りをする。ちよつと酸っぱいが十分においしい。20人が数本のみかんの木に集まるのはまるで野鳥の群れのような。陽だまりのみかん狩りは楽しい。

11時7分出発。辺りは本格的な山の雰囲気だ。左はあまり手入れをしていない竹林、右は雑木林。

11時18分、道は帰りの下山道と合流するが右に見過ぎてまっすぐ進む。

11時30分、山頂手前の休憩所に到着。ここが芋煮会場だが、荷物を置いて山頂を往復することにする。小休止。11時35分、山頂往復に出発。東屋横右側から登って行く。

11時38分、右回りと左回りの分岐、これを左に行く。少し階段状を登るといったん平らになる。そして右に登って行くとまもなく山頂だ。名残のモミジが陽に照らされて黄色く輝き美しい。鳥居をくぐると頭高山山頂だ。休憩所よりは少し大きめの東

1月16日(日)、扇山(1137.8m)です。

レギュラーコース 歩行約4間55分
(上り2時間40、下り2時間15分)

※電車バス内、混雑時はマスクを使用しましょう。

※念の為、軽アイゼンをご持参ください。(降雪の可能性あり)

2022年の最初は、扇山から富士を仰ぎます。中央線鳥沢駅から右に行き左回りで山頂を目指します。下山は北側から鳥沢駅に下ります。

○持ち物 軽アイゼン、お弁当、飲料水、マスク(予備マスク)、傘、雨具、スパッツ、非常食、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、予備靴紐、ライターがマツチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは 1月14日(金) までに

集合 1月16日(日)

6:08発 京王線新宿駅

準特急高尾山口行き(前から3両目)

途中駅発

笹塚 6:13 明大前 6:15 千歳烏山 6:20
調布 6:26 府中 6:31 分倍河原 6:33
聖蹟桜ヶ丘 6:36 高幡不動 6:40 北野 6:46

高尾 6:56着 (JR 乗り換え)

7:06発 甲府行き

鳥沢 7:35着

交通費 新宿～鳥沢 片道873円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi>

屋がある。先客2名が休憩中。山頂標識は見当たらない。大きな案内板には、どこから見ても丸い頭の形に見えることから名前が付いたと書いてある。写真を撮って同じ道に戻る。

12時前に休憩所到着。トイレと東屋があるが、その一段下の広場が会場、広くて周囲には柵もあり風も避けられて最適の場所だ。芋煮鍋の位置の横に川名棟梁がする予定だったお燗係、ピンチヒ



ッターは佐藤さん、鍋の斜め前には持ち寄りのお惣菜の並ぶメインテーブル（シート）。美味しいものが所狭しと並んでいつものように豪華だ。

早速ビールを布施さんが出して乾杯しながら、芋煮が始まる。今回は20人越えということで、鍋はいつもより大きいものを持参した。

料理人は宗像夫人と神吉の2名。バーナー係、火力調整は戸丸。大きなポンベを持参したのは星野絵里さん。並行してお燗が出来上がると、パーティは盛り上がる。大鍋の20人前の芋煮は少し時間がかかった。

分担して持ち寄った材料が入りいよいよ芋煮が完成した。やはりメインはサトイモでここに牛肉、長ネギ、シメジ等が入ると味は抜群だ。お酒も進んでいるようだ。具が少なくなったところとうどんが入るとまた美味しい、うどん第2弾はカレーうどん、これもまた絶品で、おなか一杯なのにお替りする人も。

陽が少し傾いてきた2時半頃、少し日向に移動して、シュガーズ4人が、1月30日の演奏会のプレ演奏を行う。数曲歌って終了。元に戻って荷造りをする。

3時、下山開始。来た道に戻る。左手には大山丹沢が見える。

3時13分、Y路の分岐を左方向。

3時23分、車道が曲がりくねっている分岐点。右に上がれば丘陵方面、まっすぐは渋沢駅と標識があるが、左に鋭角に下ってゆく。白山神社、老人ホーム、を左に見て、泉蔵寺という大きなお寺も左側にある。

途中右に曲がり、小さな小川沿いの道を進む。虫を保護しようとしているようだ。横にはセリにが自生していた。小川沿いに行くくと田んぼの横を通過、畑になり、道らしき道がなくなる。左に小さな小さな橋を渡り坂道を登ると車道に出る。柚子や小粒のキウイなどが庭先で売られていた。ほぼ買い占めて出発。

バス通りに出て、朝のバスのルートを逆に駅に向かう。住宅地を下ってゆくと前の前には大山、丹沢がどっしりとして見えている。

渋沢駅に4時半頃到着。ここで自然解散。20人のツアーが終了した。

シュガーズの5人は、反省もかねて北口の居酒屋で仕上げをする。最初はちつとも反省している様子ではなかったが、演奏会も近いので次第に話は盛り上がった。

箱根組は来年も楽しいことを計画したいと思う。

